

区民等との意見交換会の概要

本委員会における調査・検討に資するため、以下のとおり区民等との意見交換会を開催した。

1 開催日時

令和8年9月2日（水） 午後6時30分～午後7時35分

2 参加者

- （１）墨田区立小学校PTA協議会 5人
- （２）墨田区立中学校PTA連合会 7人

3 内容・テーマ

「持続可能な水泳授業に資する学校プールの在り方について」

4 意見交換会の概要

18：30 開会

①委員長あいさつ、②委員紹介【副委員長】

③墨田区立小学校PTA協議会会長あいさつ、出席者自己紹介

④墨田区立中学校PTA連合会会長あいさつ、出席者自己紹介

18：38 3グループに分かれて意見交換を実施

19：17 グループごとにどのような意見があったかを発表

19：25 全体を通しての意見交換

19：32 委員長あいさつ、閉会

～ 意見交換会における主な意見は次のとおり ～

3 グループに分かれての意見交換における主な意見

Aグループ

- ・ 学校のプールに求めるものは、水泳の経験、それから思い出。まずは、水泳の時間を子どもたちに楽しんでもらいたい。一方、大人になったときに、例えば子どもが生まれて子どもをプールや海に連れていくときに、泳げないと少し不安であり、心配だ。
- ・ 学校プールは、日よけのシェードみたいなものがあつたほうがよいが、業平小学校は4階屋上にプールがあり、学校には日よけのシェードみたいなものをつけてほしいという意見はあつたが、風等の影響でなかなかつけられないということがあつた。
- ・ 学校にプールがなく、学校以外の民間や公共施設のプールに行くというのは、プールの授業がなかなか実施されなくなってしまう可能性もあると思う。学校にプールがあれば、経験としてしっかりプールの授業は継続していけるので、学校にプールがあつたほうがよいのではないか。
- ・ とにかく、望むこととしては、溺れないための指導というか、規定の時間内に溺れなくなるような、そういう指導をしてもらいたい。
例えば、服を着ての水泳授業は、やっているかもしれないが、長距離を泳ぐとか早く泳ぐというよりも、親としては溺れないための指導をしてもらいたい。
- ・ 指導要領の10時間について、子どもたちは毎日プールを楽しみにしているので、少ないのではないかと思う。もうちょっとプールの時間があればよいのではないか。

Bグループ

- ・ 教育委員会が学校プールの目指すところが何なのかわからない。まず10時間をやるであとか、学習指導要領があつても、それでも更なる高みを目指して泳げるようにしていくとか、取りあえず10時間をやるということが最終目標なのかが明確でないために、どういう方向で意見を出していったらいいのか。
- ・ 設備面として、ネットをつけるということに関しては、今は実施しているところもあつて、評判がよいということだった。特に、屋上にあるようなプールの場合に、使っていない時期にウミネコが巣をつくったり、それ以外のごみ、ふんなどの問題もあるそうなので、屋外であれば一律につけていくことが必要なのではないか。
- ・ もしプールを減らしたり集約化するといったとき、例えば、それが古いところにわざわざ通わなければいけないということであれば大変だが、現状も新しい古いなど学校ごとの校舎の不平等というものは、常に各学校のPTA等の方々は持っている。例えば両国中は、今とてもきれいな室内温水プールを使っているということがあるので、例えば集約化があつたときに、その集約先が室内プールでかつバス送迎があるなどであれば、少しお許しいただけるのかなと思う。
- ・ 夏休み中のプールや補講があつた際に、暑い中通つて、行ってみたら中止になっていたというような運用面の課題がある。
- ・ 施設の活用として、小学校では使っていないが、子ども会で外部活用ということをして

いる。それ以外の中学校等については、これまでは交渉してもらったこともあるそうだが、実現はしていないと伺っている。やはり管理上の安全面の問題ということが大きいとのことだった。

Cグループ

- ・ 錦糸中学校では教室を使っていたりするので、盗撮とか、子どもたちのプライバシーをどう守っていくかというのも大切な争点になる。
- ・ 拠点プール化すれば当然大規模にお金かけてつくるので、新たな地域の開放というところも必要なんじゃないかという観点、あと学校の負担、教員とか、お金とか、様々なセキュリティ観点から、地域開放をどのようにしていくのか。
- ・ 総合的に今回の観点からは、暑さ対策も含めて、どのようにやっていくかというところをこれから皆さんと話し合っていかなきゃいけないんだろうなと思う。
- ・ 年間の水泳の時間が10時間程度ということで、泳力には課題があるのではないかな。やはり専門的な指導というのが今後必要なのではないかな。